

還暦を迎え土俵入り

町相撲連盟の青木博志さん(下小谷)

5月26日、町相撲連盟(齊藤隆幸会長)主催の奉納土俵入りが津森神宮(寺中)で行われました。土俵入りを行ったのは青木博志さん(60)。還暦祝いのお礼をこめて、拝殿前で土俵入りを奉納しました。

土俵入りは連盟の会員など、関係者約20人が参列し行われました。神事の後、拍子木を先頭に、太刀持ち興梶裕一郎さん、露払い西本幸喜さんとともにまわし姿で現れた青木さんは、力強く不知火型の土俵入りを披露しました。

無事土俵入りを終えた青木さんは「大勢の方に祝っていただき感無量です」と、感慨深げに話していました。



力強く土俵入りを行う青木さん



丁寧に苗を植え付ける子どもたち

大きく育てね

益城中央小で野菜植え活動

益城中央小学校(廣瀬誠一郎校長)で5月21日、1、2年生児童131人と木山校区老人クラブ(梅田隆義会長)会員5人が、夏野菜の植え付け作業を行いました。

植えた野菜は、ゴーヤのほか枝豆、ピーマン、ナスなど約80鉢。緑のカーテンとしてだけでなく、目へのやさしさ、実際の収穫体験などでもできるため、今年から始められました。

教室南側の花壇では、子どもたちが土に穴を掘り1株ずつ植え付け、「大きく育て、早く実を見てみたい」と生育を心待ちにしていました。

梅田会長は「子どもたちには少しでも涼しい環境で学習してほしい」と話していました。

益城中学校西側(福富)の水田で6月10日、「わあくどろろカップ2012」が開催されました。町商工会青年部と(株)アスリートクラブ熊本との共催で行われたもので、今回で3回目の開催となります。

今年、益城ルネサンス熊本や、町サッカー協会、町バレー協会の皆さんが大会運営に協力しました。競技はサッカーとバレーの2種目で併せて12チーム、87人が参加。選手らは水田に飛び込むと、汗ならぬ泥を飛び散らしながらゴールを追いかけました。泥まみれの熱戦を制し「ラパン」(サッカー)と「どろだんご」(バレー)が優勝しました。サッカー優勝チームは、ロアッソ熊本チームと対戦。3対2という僅差でロアッソ熊本チームに軍配が上がりました。



泥を跳ね上げる選手たち



青森県からも参加(写真右)

光る汗? 飛び散る泥

3年ぶりの「わあくどろろカップ」開催